

研究協力のおお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 形成外科学教室

記

研究の名称	遊離自家組織による乳房再建時に拡張現実 (AR) 技術を用いる有用性
対象	研究実施許可日 (2022 年 7 月 19 日) から 2023 年 3 月 31 日までの期間に乳癌に対して深下腹壁動脈穿通枝皮弁を用いて乳房再建された患者さんの術前に施行する造影 CT 画像を研究に利用致します。本学では、15 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 (2022 年 7 月 19 日) ~ 2026 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：手術前に施行する造影 CT 画像を元に、拡張現実 (AR) 技術を用いて血管走行等を立体的に可視化します。そのように手術前にシミュレーションを行うことのメリット及び今後の課題について検討します。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される予定です。本研究は、日常診療を行った後に情報をまとめる形で行われる研究 (観察研究) ですので、参加することによる直接的な利益や不利益はありません。また、本研究へ参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。</p>

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 形成外科学 大槻 祐喜 殿

研究の名称	遊離自家組織による乳房再建時に拡張現実（AR）技術を用いる有用性
-------	----------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）